

平成23年（2011）2月23日（水）・24日（木）

平成22年度（2010）

第5回出雲市議会（定例会）

施政方針質問通告一覧表

平成22年度（2010）第5回出雲市議会（定例会）施政方針質問通告一覧表 目次

2月23日（水） 10:00開会				2月24日（木） 10:00開会			
順番	会派名	議員氏名	ページ	順番	会派名	議員氏名	ページ
1	真誠クラブ	多々納 剛 人	1～2	1	平成クラブ	宮 本 享	5～6
2	雲州クラブ	松 村 豪 人	2～3	2	河南クラブ	山 根 貞 守	6～7
3	大社クラブ	古 福 康 雅	3～4	3	市民・新生クラブ	原 隆 利	7～8
4	日本共産党	萬 代 弘 美	4～5	4	市民新風会	多久和 康 司	8～12
				5	公 明 党	勝 部 順 子	12～13

平成22年度（2010）第5回出雲市議会（定例会）施政方針質問通告

質問者		13 真誠クラブ 多々納 剛 人	
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 所信について	1. 市政運営について 市長には任期4年の折り返し地点を迎えられるが前半2年間の市政運営について率直な感想を伺う。	市 長	
2. 産業の振興について	1. 東アジアに向けての市場調査について 新たな取り組みとして東アジアに向けたマーケティングに取り組むとあるが具体的にどのような体制で取り組むのか伺う。 2. 看護系専門学校の誘致について 早期開設に目途はあるのか現状を伺う。	市 長	
3. 産業都市の創造	1. U I ターン就農支援について 就農支援に合わせた定住支援策の更なる取り組みについて考えを伺う。 2. 環境保全型農業について トキの分散飼育地としての環境保全型農業の取り組みをどのように進めてゆくのか伺う。	市 長	
4. 出雲神話観光大国の創造	観光施策の推進体制について (1) 市民提案型の誘客事業についての支援制度とはどのような制度なのか伺う。 (2) 首都圏・関西圏のみならず平成26年には松江・尾道の高速道の開通が予定されている。出雲から四国今治までが高速でつながり交通アクセスが整備されるが、四国に向けた観光戦略はないのか伺う。	市 長	
5. 人材育成都市の創造	1. 子育て支援事業について 新規事業の「子育て短期支援事業」など、子育て環境には時代背景と共に更なる充実が必要と考えるが、今後の子育て支援策について考えを伺う。	市 長	

	2. 地域力の低下について 人材育成策には地域との連携が不可欠とも言われる時代だが、近年地域力の低下が危惧されているなかで、自治協会の加入促進など地域力向上にどう取り組まれるのか伺う。		
6. 平成23年度予算の概要	今後の市の事業の進め方について考えを伺う 良いものは残し、改革すべきものは見直し、新たに力を注ぐべきものには力を注ぎ、メリハリを付けた市政運営の舵取りと施政方針の結びにあるが、その方針は新年度予算にどのように反映されているのか伺う。	市長	

質問者	8 雲州クラブ 松村 豪人
-----	---------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 施政方針の所信から	1. 斐川町との合併について 10月の同町との合併により、新しい出雲市は農業生産、商工業等今後の発展が大きく期待される。合併までの経緯を振り返り、あらためて所感を伺う。 2. 産業の振興について (1) 長引く経済不況の中、東アジアに向けたマーケティングの取り組みは、本市地域経済の活性化に資するものとして大変期待している。具体的な展開は。 (2) 宍道湖・中海圏域の各都市との連携を図り、大きなスケールでの情報発信とは。 (3) 看護系専門学校の誘致に向けた検討状況と、開設後、唯一の市立病院である総合医療センターとの連携をどう考えているか。	市長	
2. 「産業都市の創造」から	1. エネルギー関連産業について エネルギー関連産業とは。また、立地促進に向けた取組みを一層強化するための、推進体制の整備について検討するとあるが、より具体的に。	市長	

	<p>2. 森林保全について</p> <p>(1) 松くい虫などの被害防止について</p> <p>① 被害防止は喫緊の課題であるが、対策の検討開始はいつ頃か。</p> <p>② 既に松くい虫などの被害を受けた、枯損木の撤去はどうなるのか。また、森林再生にどう取り組むか。</p> <p>(2) シカ対策について</p> <p>住民が待ち望む、弥山山地の生息頭数180頭、湖北山地においては0頭とする目標の達成に向け、決意を。</p> <p>(3) 組織体制の強化への取組みとは</p> <p>3. 水産業の振興について</p> <p>(1) 昨年、特に平田地域においては、水揚量が減少し、漁家経営にとっては厳しい結果となった。新年度の展望は。</p> <p>(2) 水産物産地市場の整備と、魚価の向上の関連性について。具体策があるか。</p>		
3. 「健康文化都市の創造」から	市立総合医療センターの運営について 地方公営企業法全部適用となった場合、期待される効果。	市長	

質問者	31 大社クラブ 古福康雅		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 観光振興について	<p>1. ご縁広場の整備について</p> <p>道の駅『ご縁広場』における物販、飲食、休憩機能の拡充について、民間からの提案を受けて整備を図るとされているが、</p> <p>(1) 具体的にどのような整備をされようとしているのか</p> <p>(2) 市が期待されている民間提案とは何か</p> <p>(3) いつまでに整備を完了される予定か</p> <p>(4) 運営は誰があたるのか</p> <p>2. 神門通りの整備について</p> <p>(1) 県では、社会実験結果を受けて、どのような年次スケジュールによって整備されるのか、整備内容も含め具体的にお知らせを</p>	市長	

	<p>(2) 旧JR大社駅への連続性も考え、宇迦橋から南への道路整備についての考え方は</p> <p>3. 観光消費額の増加、滞在力の強化について 何よりも市内の宿泊施設の充実が求められると思うが、</p> <p>(1) 市内の宿泊施設について、十分であると考えておられるか (2) 十分でないとした時、今後どのような取り組みをされるか。 10月から『湯の川温泉』も市内になることも踏まえてお答えを</p>		
2. 森林の保全について	<p>1. 松くい虫防除の薬剤空中散布について 伐倒駆除や抵抗松の補植などでは目を覆う枯れ松の現状は止められない。地域住民の切なる願いを受け、薬剤の空中散布再開の考えはあるか、市長の考えを伺う。</p> <p>2. シカ対策について (1) 大幅の生息頭数の増加推定を受けた今、人との共存に相当とされる生息管理目標頭数180頭にするために、今後どのような取り組みをされ、いつまでに目標を達成される予定なのか伺う。 (2) 2年前の21年に作られた「出雲市シカ対策基本計画」について見直しはどうされるか。また、湖北山地については、平成25年度中には非生息地域とするとされていましたが、この点についても含めてお答えを。</p>	市長	

質問者	22 日本共産党 萬代弘美		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 市民の命と健康を守る国民健康保険事業について	1. 厳しい経済状況が続く中で、毎年保険料が引き上げられ、保険料負担は限界を超えており、市民から悲鳴が上がっている。このような実態をどう認識されているのか。市民の命と健康を守るために、市として一般会計からの繰入れを行い、高すぎる国保料を思い切って引き下げをを求める。同時に、国に対し国庫負担の引き上げを求めるとともに、県に対し助成を求めるなど責任ある対応を重ねて伺う。	市長	

	2. 滞納世帯に対する制裁措置として発行されている短期証、資格証の発行は、受診抑制や命にかかわる問題である。正規の保険証交付をすることが行政の仕事ではないか。滞納世帯に対する指導、援助をきめ細かく対応することを求め、所見を伺う。		
2. 子育て支援事業について	少子化がすすむ一方で、児童虐待なども増加しており、子どもを産み育てる環境が悪くなっている。何よりも子どもたちが健やかに育つ支援策の充実が喫緊の課題である。とくに子育て世帯の負担軽減をはかる子どもの医療費助成を拡充する流れが県内でも広がっている。子育て支援として要望の強い、子どもの医療費無料化を中学校卒業まで拡大することを求める。	市 長	
3. 産業都市の創造について	1. 地域の経済が閉塞しているもとで住宅リフォーム助成制度は、業者の仕事確保につながるとともに住民ニーズにこたえたもので市内の経済を元気にする事業である。補助対象を工事額50万円以上から、10万円以上に引き下げることや助成額の拡大、実施期間を限定しないで通年実施をするなど、再構築にふさわしく積極的に制度内容の改善、拡充をすることをはじめ、実態に応じた予算の増額を求める。 2. 国の活性化交付金を活用して、公共施設、生活道路、市営住宅の修繕など小規模修繕工事の緊急発注を求める。	市 長	

質 問 者	26 平成クラブ 宮 本 享
-------	----------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 斐川町との合併について	1. 本年10月1日に斐川町との合併により新しい出雲市が誕生するが、合併効果を発揮させるためには、斐川町が持っている豊富な地域資源をうまく活用することが求められる。市長はどの地域資源に最も着目し、どのように活用していきたいと考えているのか。 2. 斐川町が持っている地域資源の中で、出雲ブランドになり得るものはあるか。 3. 「出雲ブランド化推進市民委員会」の10月1日以降の運営はど	市 長	

	のようになるのか。		
2. 自治基本条例について	1. 市民懇話会では、自治基本条例に盛り込むべき事項として、具体的にどのような意見が出ているのか。また、これらの意見をどう集約していくのか。 2. 議会提案はいつごろになるのか	市長	
3. ゼロベース評価について	1. 平成22年度においてはじめて行われたゼロベース評価について、その効果と反省点は何か 2. 事業の選定の段階から市民の参画を得ながら評価委員会を実施するとあるが、具体的な事業選定への流れは	市長	
4. 産業の振興について	1. 長引く経済不況によって、本市の経済環境も深刻な影響を受けているとあるが、本市においてこれを表す具体的な数値があれば示してほしい。 2. 成長著しい東アジアに向けたマーケティングに取り組みたいとあるが、どこの国とどのように行うのか。 3. 看護系専門学校の誘致について、状況はどうなっているか。 4. 誘致する際の優遇措置はどのようなことが考えられるか	市長	
5. 健康文化都市の創造について	出雲総合医療センターについて (1) 運営形態について平成24年度から地方公営企業法全部適用の病院として新たな事業管理者のもと責任の明確化と経営の健全化を目指す体制に一新するとあるが、事業管理者はどのような方を考えているのか、又、責任の明確化はどのようになるのか。 (2) 県内の病院は医師、看護師確保の問題が深刻な状況にあるが取り組みはどうなっているのか。	市長	

質問者 10 河南クラブ 山根貞守

質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. 財政の健全化について	1. 斐川町と合併後早期に「中期財政計画」を策定し計画的な財政運営を目指すとありますが、次の点について伺う。	市長	

	<p>(1) 合併後の実質公債費比率はいくらを想定しているのか伺う。</p> <p>(2) 合併後の将来負担比率はいくらになるのか伺う。</p> <p>2. ゼロベース評価委員会について</p> <p>(1) 昨年開催されたゼロベース評価委員会において、仕分け人や市民判定員から、市の事業の進め方等について厳しい意見を頂いたとありますが、この意見に対して市長は、どのような感想と対応をされたのか伺う。</p> <p>(2) ゼロベース評価委員会の32事業の評価結果と10事業の不要の評価結果について、市長の見解を伺う。</p>		
2. 産業振興について	<p>専門学校や各種学校等について伺う。</p> <p>(1) 専門学校については、昨年から看護系の専門学校や、アーティストを目指す若者が学ぶ、クリエイティブな専門学校等複数から話を頂いているとあったが、その後の進展を伺う。</p> <p>(2) 今年からは、新たに各種学校等の誘致にも取り組むとされていますが、具体的なものがあれば伺う。</p>	市長	
3. 健康文化都市の創造について	<p>総合医療センターの運営形態について伺う。</p> <p>総合医療センターの運営形態を平成24年度から地方公営企業法全部適用の病院としてスタートする事とされていますが、その決定の理由を伺う。</p>	市長	

質問者	27 市民・新生クラブ 原 隆 利		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
財政に関する考え方と平成23年度予算執行方針	<p>1. 財政再建の必要性</p> <p>前西尾市政においては「財政などどうにでもなる」有利な起債(合併特例債など)は使わなきゃ損と言った感覚すらあった。長岡施政においては一変して「財政再建」を前面に出し、事業の見直し、縮小を強く訴えられている。市民にはこの変化が理解できない。例えば実質公債費比率や将来負担率が上昇すると、具体的に市民生活に</p>	市長	

	<p>どのような悪影響があるのか。</p> <p>2. 新年度予算不成立の場合の本市への影響は 今国会で新年度予算案が審議中だが、予算案は通過しても関連法案が通らない事態が現実味を帯びてきた。その場合の出雲市財政に及ぼす影響・当面の対策は。</p> <p>3. 国調の影響と新年度予算の人口規模別補正の影響は 新年度予算においては、地方交付税算定において、昨年の国勢調査の速報値に置き換えられる予定と聞かすが、出雲市に対する影響は。小泉政権下での交付税減額処置に対して、段階補正の見直しが図られ、人口規模の小さい自治体にプラスの効果が出ている。その影響額はどの程度か。</p> <p>4. 斐川町合併による合併特例への影響 合併特例として、10年間は従来の自治体単位での交付税算定が行われることになっているが、今年度の交付税算定においては、人口10万人規模を基準として、それ以下の自治体に厚く処置されているが、これは旧自治体の人口規模によっているのか。斐川町との合併による交付税算定はどのようになるのか。</p> <p>5. 昨年の財政見通しと合併後の財政計画 12月議会で示された財政見通しは、上記のことは織り込み済みか。全体的にどう影響するとみているのか。斐川町との合併後、中期財政計画を策定すると述べられているが具体的な提出時期は。</p>		
--	---	--	--

質 問 者	28 市民新風会 多久和 康 司
-------	------------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 所信	<p>1. 合併によりより良い出雲市になるために 合併によりより大きな出雲市になると思いますが、農業の生産力なり、工業は山陰最大など具体的に数値を示していただきたい。そしてそれを生かしていく具体策はあるのか考えをお聞かせください</p>	市 長	

	<p>い。</p> <p>2. 市民の皆様や地域の参画に期待するものとは 市政の中で「出雲の真のブランド化」にしていく上で、市民の皆様や地域の参画をどのように進めていかれるのか、期待されるものとはなんなのか。</p> <p>3. 若い人の定住策は 経済が低迷するなかで雇用の場の確保は大変厳しいと思いますし、市としてのおもいきった支援策が必要と思いますが、どうか。</p>		
2. 住民参加型システムの構築について	<p>市民が主役のまちづくりと言われていますが市民目線なのかどうか。</p> <p>(1) 市民が主役のまちづくりと言われていますが、市の職員目線で行われ市民におしつけになってはいないか。市民の代表である議員よりも市民の人が先に知っておられることがたまにある。こうしたこともどうか。もう少し丁寧な行政運営を望むとともに市長の考えは。</p> <p>(2) 市長・部長の考えが職員と一貫した行政が必要であるが一体感連携はどうなのか。</p> <p>(3) 「市長ポスト」や「市長面会日」その他メールなどあると思いますが、それをどのように生かされているのか。</p>	市 長	
3. 財政の健全化について	<p>多くの公共施設の維持管理はどうしていかれるのか。</p> <p>(1) 多くの公共施設の将来の維持管理のあり方をどのように考えておられるのか。</p> <p>(2) 各地にある施設は、地区の住民にとっては必要なものであり、老朽化等に伴う再配置計画も必要ですが、どのように乗り越えていかれるのか。</p>	市 長	
4. 産業の振興について	<p>東アジアに向けたマーケティングの取組みについて</p> <p>(1) この取組みは早急な取組みが必要と思いますが、具体策はあるのか。</p> <p>(2) トップセールスを考えておられるのかどうか。</p>	市 長	

<p>5. 産業都市の創造について</p>	<p>1. 出雲ブランド認定制度について 検討するのではなく、早急な制度化が必要であり、急ぐべきと思いますが、どうか。</p> <p>2. 住宅リフォーム助成事業について 私たち会派で、過去に視察研修を重ね事業化をお願いしてきた中で、私が建設委員会にいる時にも視察研修をして、小汀委員長を中心に委員会一致して実施をお願いして事業化されてきた事業であり、強く継続を望むものであります。地域経済の活性化を目的として引き続き実施されるとのことですが、どのように実施されるのか。</p> <p>3. 新しい農業への転換期にあると思いますが、どうか。 (1) いろいろな面での農業の転換するときと思いますが、政策的にも転換する必要がある思いがするがどうか。 (2) デラウェアの早期出荷を今まで通り出荷するのではなく、品質の統一する対策なども必要と思うがどうか。 (3) 燃料代の高騰、日照不足などから、早期出荷は現実的に採算がとれないと思います。支援が必要と思いますが支援策は。 (4) その他の策はあるのか。 たとえば米粉パンの振興なり支援策はないのか</p>	<p>市長</p>	
<p>6. 出雲神話観光大国の創造</p>	<p>観光資源を生かした取り組みについて (1) 合併して大きくなった出雲市の情報発信はいつからなのか。 (2) 着地型旅行商品の開発とはどういうことか。 (3) 宿泊施設の不足はどう考えておられるのか。たとえばイベントなどで全国大会などが出雲で開催された場合、施設（宿泊）がなく、松江で宿泊するなどされていますがどうか。現況どうとらえておられるのかも伺う。 (4) 市民提案型の誘客事業への支援制度とはどういうことなのか。 (5) 国、県、隣接する市町の連携は欠かせないと思いますが、どうした連携をとっていかれるのか。</p>	<p>市長</p>	
<p>7. 都市・交流拠点の創造</p>	<p>1. 生活道路及び下水路について (1) 「第2次3か年整備計画」に基づいて整備を進められますが、旧出雲市時代と比較すると相当の減額になると思いますが、どう</p>	<p>市長</p>	

	<p>か。</p> <p>(2) 費用対効果からランク付けされていると聞いてますが、農林水産業などの経済的効果も検討すべきと思うがどうか。</p> <p>(3) かつて農林基盤等で住民の皆様が土地を提供され、道路が拡幅されたのもあるようですが、その時に道路整備を約束された道路があるように聞いております。課と課の連携が出来なかったと思いますが、すみやかに対応していただきたい。</p> <p>2. 公共交通ネットワークの構築について</p> <p>(1) 議会の特別委員会でも視察研修をして来ているところですが、検討会の構成はどうか。</p> <p>(2) システムの構築はいつごろか。</p> <p>3. 一畑電車の利用者増への取り組みは</p> <p>事業者との連携はもちろん、利用者増への取り組みは。</p>		
<p>8. 環境先進都市の創造</p>	<p>1. 全市的に環境や自然保護に対する意識の高揚を図る取り組みについて</p> <p>(1) どのような取り組みを具体的にされるのか</p> <p>① 小、中、高へのとりくみ</p> <p>② 一般へのとりくみ</p> <p>2. 二酸化炭素削減の取組みについて</p> <p>一般的に出来る取組みで、ノーマイカーデー、ノー残業デーなどがありますが現況はどうか。全市的な取組みは。</p> <p>3. 治水対策について</p> <p>放水路事業の早期完成と3点セットの一つである大橋川改修事業推進を強く望むとともに、新内藤川、赤川をはじめとする県管理河川の改修整備を早急をお願いしたい。</p>	<p>市 長</p>	
<p>9. 人材育成都市の創造</p>	<p>1. 「保幼小一貫教育」と「小中一貫教育」の推進について</p> <p>23年度はどのように進められるのかお聞かせ下さい。</p> <p>2. 文化・スポーツの充実について</p> <p>(1) きめこまかな文化振興が必要と思いますが、どのような施策を取り組まれるのか。</p> <p>(2) スポーツアカデミー事業をやめて、選手・指導者育成システムの強化は具体的にどのように取り組まれるのか。</p>	<p>市 長</p>	

	<p>3. コミュニティ活動の促進について コミュニティ活動の促進には、小中学校はもとより地域の諸団体との連携はもちろん、万一の災害の際の中心にならなければなりません。</p> <p>(1) 地域の諸団体との連携はどのようにされるのか。 (2) 地域における住民とのコミュニティはどのようにされるのか (3) 町内会や自治会への加入促進の支援策は</p>		
--	--	--	--

質問者	23 公明党 勝部 順子
-----	--------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 財政の健全化	<p>「ゼロベース評価委員会」</p> <p>(1) 昨年開催された「ゼロベース評価委員会」の結果を受けて、新年度予算にどのように反映されたのか伺います。 (2) 専門委員、市民判定委員からの厳しい意見を、今後どのように反映されるのか伺います。 (3) 新年度は、事業の選定段階から市民の参画を得て、評価委員会を実施されるお考えですが、詳細について伺います。</p>	市長	
2. 市民の交通手段の確保	<p>交通空白地域の解消支援について</p> <p>交通空白地域の生活交通確保のために、島根県は「交通空白地域解消支援事業」を新規に立ち上げました。これは、平成21年～22年に実施した自治会輸送活動支援事業の成果を含めた様々な対応や手段などを市町村に提供すると共に、実行計画策定や実証運行などの取り組みを総合的に支援するものです。これまで浜田市・飯南町・美郷町の三か所で実施されてきました。</p> <p>出雲市内でも、中山間地域だけでなく、街中でも交通空白地域があるのが現状です。この事業にぜひとも取り組んでいただきたい。市の考えを伺います。</p>	市長	
3. 子育て事業の更なる充実	<p>1. 待機児童の解消について</p> <p>(1) 出雲市の、待機児童の状況。</p>	市長	

	<p>(2) 大田市は、昨年12月から国の家庭教育事業で「保育ママ制度」をスタートされました。主に共働き世代への子育て支援を目的に取り組まれました。大田市でも、途中入所の待機児童が毎年20人程度ありこの解消を図るために事業に着手されています。出雲市でも、この「保育ママ制度」に取り組まれる事を望むものです。</p> <p>2. 「子育て短期支援事業」の取り組みについて</p> <p>(1) この事業に取り組まれる目的と背景。</p> <p>(2) 想定される、対象者。</p> <p>(3) 事業の詳細について。</p>		
<p>4. 健康文化都市</p>	<p>1. 出雲総合医療センターについて</p> <p>平成24年度から「地方公営企業法全部適用」の病院として、新たな事業管理者のもと、責任の明確化と経営の健全化を目指す体制にされます。</p> <p>(1) 導入までのスケジュール。</p> <p>(2) 全部適用と、一部適用の違いについて。</p> <p>2. 高齢者対策</p> <p>(1) 「第5期出雲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の中で「買い物弱者対策」や「孤立化」、今日的な課題に対する支援策の方針を定めるとされています。この問題は、もっと早くの対応が必要と考えます。</p> <p>(2) 高齢者などが、安心して住める住まいの確保は重要な課題と考えます。今は元気で一人暮らしができていても、介護が必要になった時どうすればよいかとお考えの方もおられます。今後、市有地や古くなって立替が必要な公営住宅を、医療・介護一体型高齢者専用住宅へ移行することも考えていただきたいと思います。国民年金受給者の方などでも安心して老後を過ごせる有料老人ホームの推進は喫緊の問題です。市の考えを伺います。</p>	<p>市長</p>	